

# リユースとショーサン

白浜 真砂

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

FF14の二次創作、コント台本風小話です。BL要素がありますので御注意下さい。

思い付きで書いたものなのでヤマもオチも意味もありませんw

# 目次

マテリア依頼 (禁断有)	1
空島に行こう	4

## マテリア依赖 (禁断有)

(FCハウス内、シヨースンがリテイナーベルの前に立っているところでリユースンが入り口から入って来る)

リユースン：おー、シヨースンお疲れっすー！

シヨースン：ああ、リユースンちーっす！最近どうよ？

リユースン：いやー、最近やっとアニマ強化し終わってさー。

シヨースン：あー、ゴミ取れたんだ。良かったじゃん！

(リユースン、シヨースンに怒るのエモート)

リユースン：『ロンゴミアント』！ゴミって言うな!! やつとの思いで強化したアニマウエポンだっていうのに……。

(シヨースン、リユースンにだめめるのエモート)

シヨースン：まーまー。ちよつとしたお茶目な冗談なんだから、そう怒るなって。……そうだ！リユースン、木工のレベル上げてたよな？

リユースン：ああ、一応マイスターも取ってるぞ。それがどうかしたのか？

シヨースン：マジか！それじゃあちよつとアクセサリーにマテリア入れて欲しいんだけど、いいかな？

リユースン：おつけー！じゃあ早速依頼してこいよ。……って、このカンファアক্ষে、全部ノーマルなのか？

シヨースン：ああ、マーケツトで安く買えたんだ。いいだろ！これに意思クリのマテリアジャをガン積みするんだ！

(リユースン、シヨースンに呆れるのエモート)

リユースン：安く買えたって……そりゃあノーマルだからな。ていうかこんなのにガチでマテリア積みんでももったいないだろ！……しようがねえなー、俺がお前のアক্ষে作ってやるよ。

シヨースン：いいのか!?

リユースン：ああいいよ。ただし材料はお前が揃えるんだぞ？

(シヨースン、頬を赤らめながら目を潤ませてリユースンを見つめる。)

シヨースン：り……リユースン……っ！……よし、お礼に俺のヴァージンをお前にやろう。

リユースン：いらねーよ、そんなもん！つーか俺にそんな趣味はねえからな！

(シヨースン、リユースンに大笑いするのエモート)

シヨースン：あつはつは……！何勘違いしてるんだよりユースン！ヴァージンと言っても、俺がお前に捧げるのは極セフィロトのヴァージンだ！

リユースン：何だよそれ！……まさか、それって初見って意味じゃないよな？

シヨースン：右のボーナスも付いていてお得ですよ？予習はしませんけど。

リユースン：寄生する気満々じゃねーか！

シヨースン：フツ……そうとも言うな。でも安心しろ！俺が今装備しているのはドラコノミコンのミラプリをしたワード・オブ・セフィロトだ！

リユースン：初見どころがめっちゃめっちゃ通ってるじゃねーか！何なんだよお前!?やっとなニマが一段落したばかりの俺をバカにしてんのか？

シヨースン：……全く、そう怒るなよ。血圧上がるぞ？

(リユースン、シヨースンに詰め寄るのエモート)

リユースン：誰のせいで怒ってると思ってるんだよ!!

シヨースン：落ち着けて！今度リユースンも極セフィロト行けばいいじゃん。俺も付き合うからさ。

リユースン：シヨースン……!!

(シヨースン、真剣な顔でリユースンの肩をガシツと掴む)

シヨースン：ただし……リユースンのヴァージンを、俺が貰ってもいいのなら……だけどな。

リユースン：……は？ちよ、待てって！それってセフィロト初見って意味だよな？やめてくれよ、マジで俺そういう趣味ねーからな!?

シヨースン：ふふふ、安心しろ！リユースンがヒーラーに見捨てら

れでも蘇生くらいはしてやるから、せいぜい俺にバトルリタニーを付けてくれ。

リユーサン：……お前、今俺にさらっとひどい事言ったよな？

シヨースン：まあ俺はこれからアニマの強化の続きで忙しくなると思うから、極セファイ付き合うのはもう少し先になるだろうけど。

(リユーサン、シヨースンの手を振り払う)

リユーサン：てめえ、マジで俺をおちよくってるだろ!?

シヨースン：ああ、おちよくってるさ。だけど……お前のヴァージンが欲しいのは、大真面目だからな。

リユーサン：……えっ？

## 空島に行こう

(リユーサン、イシユガルドのマーケットでマーケットボードを見ながらため息をつく。)

リユーサン：(……あれから何となくフリーカンパニーの家に行きづらくなったなあ。……まあ多分シヨースンの事だから、あんな事を言っても俺をいじって遊んでいるだけなんだろうけど……。……って、何で俺がシヨースンの事を意識してるんだよ!?)

(リユーサンが考えるのエモートをしている後ろからシヨースンが近付いてつつくのエモート。)

シヨースン：おー、リユーサン久しぶりー!

リユーサン：うおおああああつ!?!?!?!しつ、シヨースン!!

(リユーサン、驚くのエモート)

シヨースン：あつはははは……!?!?!リユーサンすげえ驚いてる。面白えー!

(シヨースン、リユーサンに大笑いするのエモート)

シヨースン：でも、最近どうしたんだ? FCの方にも全然顔出さないし、みんな心配してたぞ?

リユーサン：ど、どうしたんだ? って……。

シヨースン：あー……もしかしてこの間の事、マジに取っちゃった?

リユーサン：いやまあ……あんなマジな顔で言われたら、そりゃあ警戒するだろ……。

シヨースン：……まあ、それはともかくリユーサン、今ヒマ?

リユーサン：え? あ、ああ……一応。

シヨースン：そっか! じゃあさ、これから二人でディアDEM行かね?

リユーサン：……何で?

シヨースン：そう身構えるなって! ちよつと空島で取れる素材が欲しくてさ。リユーサン、ギャザクラ結構やり込んでるだろ? なあ、頼むよ! もうリユーサンの事、変にいじったりしないからさ。

リユーサン：……………しようがないなー。

シヨースン：やったー！リユーサンサンキュー！

(シヨースン、リユーサンにハグのエモート)

リユーサン：……………っ！し、し…………シヨースンっ!?

シヨースン：ん？どうしたリユーサン。顔真っ赤だぞ？

リユーサン：な…………っ、何でもねえよ！っか何で抱きついてくるんだよ!?

シヨースン：H A H A H A！同性でもハグくらい欧米では普通だろ？それとも……………もしかしてリユーサン、俺を意識しちゃったりしてる？

リユーサン：んな訳ねーだろ！

シヨースン：そっか……………そうだな。それじゃあパーテイ申請出しておくから受けておいてくれな。俺あ先にF Cの家に戻って飛空艇確保してくるわ。

リユーサン：お、おう……………。

(シヨースン、テレポで退場)

リユーサン：……………ったく、あれからシヨースンと居ると調子狂うんだよなあ……………。いつもより俺を多少いじりすぎただけなのに、何意識してるんだろうな、俺は。……………これじゃあまるで……………。)

(シヨースン、テレポでF Cハウスの前に到着)

シヨースン：……………やっぱり引いてたよな、リユーサン。まあ俺が悪いんだけど。……………悪ノリし過ぎたって思ってくれてるみたいだけど、少し自重しないと。……………あいつに嫌われるのは嫌だからなあ……………。)